

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年8月4日

上場会社名 櫻護謨株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5189 URL <http://www.sakura-rubber.co.jp/>  
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 浩士  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役総務部長 (氏名) 遠藤 聡 (TEL) 03-3466-2171  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,231	2.7	△248	—	△254	—	△184	—
2022年3月期第1四半期	1,199	△32.6	△311	—	△311	—	△220	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △188百万円( —%) 2022年3月期第1四半期 △219百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△190.99	—
2022年3月期第1四半期	△227.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	13,496	7,231	53.6
2022年3月期	14,375	7,444	51.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 7,231百万円 2022年3月期 7,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 2023年3月期の期末配当予想につきましては、現段階で未定です。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	7.1	170	—	150	—	90	—	93.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	1,012,000株	2022年3月期	1,012,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	44,492株	2022年3月期	44,492株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	967,508株	2022年3月期1Q	967,574株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書（第1四半期連結累計期間）	6
四半期連結包括利益計算書（第1四半期連結累計期間）	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内における行動制限緩和によりサービス業などの景況感は改善したものの、ウクライナ情勢や為替の円安基調の影響から資源価格や材料価格は上昇しており、製造業を中心にコスト高が長期化する懸念を抱え推移しております。

このような状況のもと当社グループといたしましては、感染症対策を最優先しつつ、引き続きお客様に満足される製品・サービスの提供により、安心・安全な社会の維持に貢献するべく事業活動を行っております。また、前期は赤字決算となったことから、収益性の早期回復を目指し、現在、生産体制の見直し、原価構造の改善、売価の再設定等を進めております。当第1四半期の損益において改善の効果はまだ僅少であるものの、継続して取り組んでまいります。

なお、当社は2022年7月15日開催の取締役会において、希望退職者の募集について決議しておりますが、現時点では募集期間開始前であり応募者の人数や構成が未確定であるため、当第1四半期の損益に割増退職金等の特別損失の見込額は計上しておりません。

その結果として、売上高は1,231百万円（前年同期比2.7%増）、営業損失248百万円（前年同期は311百万円の営業損失）、経常損失254百万円（前年同期は311百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失184百万円（前年同期は220百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

売上高は、消防・防災事業で減少したものの、航空・宇宙、工業用品事業の増加が寄与し、前年同期と比べ増加となりました。なお、消防・防災事業では、顧客予算との関係から売上高は下期に集中する傾向にあります。

利益面では、航空・宇宙、工業用品事業の売上高増加による固定費吸収には至らなかったものの、売上原価率は改善しました。また、最近のエネルギーコスト増加や、展示会出展などの費用増加もありましたが、全体としてはコスト削減の努力により前年同期と比べ営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失は縮減しました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (消防・防災事業)

消防ホースについては、点検交換需要により消火栓ホースの販売が伸びた前年同期と比べ、販売数量が減少しております。資機材についても、前年同期にありました東京オリンピック向け開催直前のスポット販売が剥落し、売上高は減少となりました。その結果、売上高398百万円（前年同期比25.0%減）、セグメント損失（営業損失）は148百万円（前年同期は85百万円のセグメント損失）となりました。

#### (航空・宇宙、工業用品事業)

航空・宇宙部門では、受注の完全な底にあった前期と比べ、当第1四半期に官需大型機向けのエンジン部品及び配管類の納期の山があり販売は伸長しました。工業用品部門では、一部材料の入手が困難な状況は継続しているものの当面必要な量は手当てできたこと、原油貯蔵施設等の点検改修が活発になっていることからタンクシールの販売は増加しております。子会社における金属加工品も前期から継続して高水準な販売を維持しました。利益面では、生産体制の見直し、原価構造の改善に努めているものの固定費吸収には至らず、その結果、売上高は708百万円（前年同期比30.3%増）、セグメント損失（営業損失）は53百万円（前年同期は176百万円のセグメント損失）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

新型コロナウイルス感染症による大きな影響もなく、売上高は順調に推移しておりますが、利益面では管理コストが増加しました。その結果、売上高は123百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益（営業利益）は29百万円（前年同期比13.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産

当第1四半期連結会計期間における流動資産は8,639百万円（前連結会計年度末比887百万円減）となりました。主として、現金及び預金が710百万円増加した一方、売上債権回収により受取手形、売掛金及び契約資産が1,710百万円減少したことによるものです。

また、固定資産は4,857百万円（前連結会計年度末比8百万円増）となりました。

この結果、資産合計は13,496百万円（前連結会計年度末比879百万円減）となりました。

### ② 負債

当第1四半期連結会計期間における流動負債は3,402百万円（前連結会計年度末比748百万円減）となりました。主として、支払手形及び買掛金が1,149百万円減少したことによるものです。また、固定負債は2,862百万円（前連結会計年度末比82百万円増）となりました。

この結果、負債合計は6,264百万円（前連結会計年度末比666百万円減）となりました。

### ③ 純資産

当第1四半期連結会計期間における純資産は7,231百万円（前連結会計年度末比212百万円減）となりました。主として、親会社株主に帰属する四半期純損失184百万円と剰余金の処分24百万円による減少が要因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては2022年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想の内容に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,355,720	4,066,423
受取手形、売掛金及び契約資産	3,062,820	1,352,207
電子記録債権	547,332	586,210
商品及び製品	96,114	125,044
半製品	517,151	498,962
仕掛品	1,284,748	1,326,822
原材料及び貯蔵品	571,528	561,343
未収還付法人税等	9,103	18,893
その他	85,945	104,941
貸倒引当金	△3,425	△1,729
流動資産合計	9,527,040	8,639,121
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,698,317	1,668,109
土地	1,715,808	1,715,808
その他（純額）	545,454	512,341
有形固定資産合計	3,959,580	3,896,259
無形固定資産	26,158	25,262
投資その他の資産		
投資有価証券	273,855	264,245
その他	593,604	676,246
貸倒引当金	△5,001	△5,001
投資その他の資産合計	862,458	935,490
固定資産合計	4,848,198	4,857,011
資産合計	14,375,238	13,496,133

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,524,554	375,110
電子記録債務	179,362	398,794
短期借入金	940,000	1,090,000
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	758,356	785,506
未払法人税等	28,799	8,859
賞与引当金	155,426	229,737
その他	523,925	474,000
流動負債合計	4,150,423	3,402,007
固定負債		
社債	240,000	240,000
長期借入金	1,455,735	1,531,655
役員退職慰労引当金	221,100	225,445
退職給付に係る負債	553,619	555,157
資産除去債務	12,848	12,922
その他	296,798	297,061
固定負債合計	2,780,101	2,862,242
負債合計	6,930,524	6,264,249
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	506,000	506,000
資本剰余金	285,430	285,430
利益剰余金	6,858,041	6,649,066
自己株式	△173,688	△173,688
株主資本合計	7,475,783	7,266,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83,012	76,015
退職給付に係る調整累計額	△114,082	△110,941
その他の包括利益累計額合計	△31,070	△34,925
純資産合計	7,444,713	7,231,883
負債純資産合計	14,375,238	13,496,133

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	1,199,288	1,231,513
売上原価	1,141,353	1,086,233
売上総利益	57,935	145,280
販売費及び一般管理費	369,889	393,433
営業損失(△)	△311,954	△248,153
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	4,065	4,215
受取地代家賃	3,540	3,445
貸倒引当金戻入額	1,827	1,696
その他	3,642	3,014
営業外収益合計	13,076	12,373
営業外費用		
支払利息	10,276	10,557
社債利息	189	165
為替差損	1,577	7,858
その他	755	462
営業外費用合計	12,798	19,043
経常損失(△)	△311,676	△254,823
特別損失		
固定資産除売却損	0	35
特別損失合計	0	35
税金等調整前四半期純損失(△)	△311,676	△254,859
法人税、住民税及び事業税	4,465	9,492
法人税等調整額	△95,835	△79,565
法人税等合計	△91,369	△70,072
四半期純損失(△)	△220,306	△184,787
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△220,306	△184,787

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△220,306	△184,787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,659	△6,996
退職給付に係る調整額	5,939	3,140
その他の包括利益合計	1,279	△3,855
四半期包括利益	△219,026	△188,642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△219,026	△188,642
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
一定時点で移転される財	531,865	544,144	23,727	1,099,737	—	1,099,737
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	531,865	544,144	23,727	1,099,737	—	1,099,737
その他の収益	—	—	99,551	99,551	—	99,551
外部顧客への売上高	531,865	544,144	123,278	1,199,288	—	1,199,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	1,650	1,650	△1,650	—
計	531,865	544,144	124,928	1,200,938	△1,650	1,199,288
セグメント利益又は損失(△)	△85,810	△176,765	34,482	△228,094	△83,860	△311,954

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△83,860千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
一定時点で移転される財	398,901	708,884	24,234	1,132,020	—	1,132,020
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	398,901	708,884	24,234	1,132,020	—	1,132,020
その他の収益	—	—	99,492	99,492	—	99,492
外部顧客への売上高	398,901	708,884	123,727	1,231,513	—	1,231,513
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	398,901	708,884	123,727	1,231,513	—	1,231,513
セグメント利益又は損失(△)	△148,789	△53,685	29,916	△172,557	△75,595	△248,153

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△75,595千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。